

自分を律する力の育成

大分県国東市立武蔵東小学校

全校児童数	163名(男子87名 女子76名)		
全クラス数	7	教職員数	20名
体育専科教員訪問学校数			1校
訪問校	国東市立安岐小学校		
体育専科教員名			矢野雄一郎

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

◆運動好きな児童(愛好度アップ)の増加

日頃から社会体育等で活動に親しんでいる児童は、学校においても運動をしようとする意欲が高いが、家に帰っても運動習慣のない児童は、学校でも運動しようとする意識が薄い。また、運動遊びの種目がサッカーやキックベースボール、ソフトバレーボール等のボール遊びにかたよっている。

2 取組の計画

- ① 「東っ子チャレンジタイム」と称して、長縄、ドッジビー、50M走を行う。
- ② 学級担任とのTT指導で、運動が苦手な児童への支援や安全面への配慮を行う。
- ③ 休みの日を中心に、家庭内において、親子でなわとびやランニング等を行う。(家庭内運動習慣)

Do：実践内容

1 東っ子チャレンジタイム

朝の時間、中休み、昼休みを使って、体力向上を図るために、全校で運動する時間を設けている。

1学期は、なかよし班を使って長縄・各種運動・ドッジビーに取り組んだ。2学期は、走に重きを置いて、毎日50M走を3回以上走ることと、なかよし班の長縄に変更して、3学期も、引き続き行っている。マラソン大会やなわとび大会につながる双方の運動も随時取り入れた。

モチベーションの持続を図るために、ランニングチャレンジカードとなわとびチャレンジカードを児童に配布して、児童同士のカードの見合いや教師のコメントや評価を入れながら取り組んだ。

2 TT指導の充実

体育の授業はTT指導で行えるため、運動が得意な児童のみならず運動を苦手としている児童も含め、すべての児童を対象として、きめ細やかな指導体制がとれている。また、授業に係る器具・用具等の準備やかたづけを体育専科教員を基にスムーズなすすめ方がはかられるため、45分間目一杯運動量の確保ができています。

1単位時間の授業では「めあて」と「ふりかえり」、仲間とのかかわりあいや技能向上をめざした教え合い・支え合い・認め合いの場の設定等々も取り入れ、運動が好きになる授業の工夫・改善をめざして取り組みをすすめている。

3 家庭内運動習慣の推進

国東市独自で取り組みをすすめている健康チャレンジ(家庭内運動習慣の取り組み)とタイアップして、家庭での運動の様子についてふりかえり、取り組みへのやる気や改善につなげ、運動習慣の確立をはかった。

家なわ(家族とともになわとび)を中心に据えながらランニング等々無理のない取り組みを、個人の状況に応じて行うことで、運動好きになる子どもを増やしていく取り組みである。

まだまだ取り組み途中であるため、個人差が大きく十分な運動習慣の確立には至っていないが、その意識は醸成されつつある。

●工夫したこと(&苦労した点)

- ① 体育の教材・教具が不足気味であったため、鉄棒運動の補助具として手袋やタオル、タグラグビーのひも、跳び箱の配置の工夫等々、できるかぎりのアイデアで、教材・教具の工夫を図った。
- ② 学習カードを用いて授業のながれをつくっていかうと考えたが、うまく使えずに副読本である「みんなの体育」の使用に終始した。
- ③ 体力テストの結果から特に弱かった項目(握力)の2回目を実施して、児童の体力の変容を分析した。

Check：取組の成果

- ① TT指導を行うことで、運動を苦手としていた児童が少しずつ運動に親しむようになってきた。また、児童の運動技能や意欲の向上にもつながった。
- ② 体育環境を整えることで、授業の予習・復習運動を休み時間にしている児童が増えて、意欲の高まりが感じられた。

Action：今後の課題

- ① 教材・教具の不足(走り高跳び、バスケットボール関係等々)
- ② 各単元の時間数の確保
- ③ 体力の基礎となる生活習慣に対する指導

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

学校生活の規律や節度の大切さが浸透し、メリハリのある行動がとれるようになり、生活全般において、自覚と自信をもって、取り組めるようになった。

授業風景 <3年 タグラグビー>



授業風景<6年 ティーボール>



<東っ子チャレンジタイム>

